

理学研究科数学専攻

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

理学研究科数学専攻では、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受け、修士論文の審査に合格した人は建学の精神「学問による人間形成」に基づき、以下の能力を身につけるとともに、地域社会への知の還元と国際社会が求める科学的貢献にこたえることのできる資質を有すると判断され、修士（理学）の学位が授与されます。

- 数学を体系的に理解できる能力
- 研究成果を修士論文としてまとめ、口頭発表できる能力
- 中学校・高等学校の教員として、高度な専門的知識を身につけて、教育・指導ができる能力。または、統計数学・計算数学をベースとして、自然現象あるいは社会現象の数理的な解析ができる能力

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

理学研究科数学専攻では、理学部数学科で修得した程度の数学の一般知識を前提として、地域社会や国際社会に貢献できる資質をもったプロフェッショナルを養成することを目的とするため以下のカリキュラムを設定しています。

- 数学講究Ⅰ、Ⅱでは、修士論文作成のために必要な専門的基礎知識を修得することを目指します。
- 論文研修では、研究指導教員の指導の下、研究課題を探究発展させ、修士論文の作成を行うことにより、高度な専門的知識の修得と研究活動能力の育成を目指します。
- 各種特論では、視野を広げ、数学全般の展望やトピックを修得することを目指します。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

理学研究科数学専攻では、理学部数学科で修得した程度の数学の一般知識を前提として、数学に興味をもち、学部での研鑽をさらに深めたい学生や、キャリアパスを豊かにする社会人を受け入れます。入試構成は推薦入試（学内向け）、一般入試からなり、複数回にわけて入試を行います。また、大学卒業時に中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状を取得することにより、大学院修了時にさらに上級の資格である数学専修免許状の取得を目指し、より広範な専門知識をもつ教員を育成して地域社会へ送り出すことを目的とします。

さらに統計数学、計算数学を基礎とした応用数学分野から卓越した数理解析的手法を身につけ、世界が直面する自然現象あるいは社会現象に柔軟に対応可能な国際的に活躍する人材の発掘を目指しています。

（2021年4月入学者用）